

## 第2学年2組 体育科 学習指導案

指導者 荻野 真希

### 1 単元名 ボール蹴りゲーム 「けりっこベースボール」

### 2 運動の特性

#### (1) 一般的特性

けりっこベースボールは、攻守交代をしながらボールを足で蹴り、全力でベースに向かって走って得点をあげたり、相手の得点を防いだりして勝敗を競い合うことが楽しい運動である。

#### (2) 子どもから見た特性 (男子 16名 女子15名 計31名)

省略

### 3 仮説と学習の手立て

#### (1) 市教研体育部会の研究仮説

子どもが健康な生活を送ったり、運動に意欲的に取り組んだりするための様々な学習の手立てを工夫すればよいだろう。

#### (2) 学習の手立て

##### 【手立て1】

運動の特性を十分に検討した上で、子どもの願いを大切にしたい学習の道すじを工夫すればよいだろう。

#### ○ゲームを楽しむための道すじ

ねらいを一本にし、ゲームに親しむ時間を確保できるようにした。本学級はベースボール型の運動を初めて経験する子が多い。ベースボール型は始めから複雑なルールにしてしまうとゲームを楽しむことができない子がいると考えられる。まずは、みんながわかるやさしいルールから始めることで、どの子も安心してゲームに取り組み、得点を取る楽しさを味わうことができるだろう。ゲームを通して思い切り蹴って得点をとる攻撃の楽しさや、みんなで協力して守る守備の楽しさをたっぷり味わわせ、得点や守備のルールに慣れるようにしていきたい。

ゲームを進める中で、問題や新たな願いが生まれてくるだろう。毎時間の振り返りで、ゲームをしていて困ったことやこうしたらみんながより楽しめるという意見を取り上げ、子どもたちから出てきたルールや考えをゲームの中に取り入れていく。みんなでより楽しめるゲームを作っていく集団ゲームの学び方を身につけさせたい。

また、ゲームを通して動きを身につけていくことで、ベースボール型のゲームを初めて経験する子も意欲的に取り組むことができると考えた。子どもの願いに合わせて練習の時間については柔軟に対応していく。

## 【手立て2】

一人一人の能力に応じた学習を進める手立ての工夫をすればいだろう。

### ○ルールの工夫

みんなが楽しめるやさしいルールからはじめ、子どもの願いに合わせてルールを変更していくこととする。

#### ①打順ひとまわりチェンジ

全員が攻撃してから攻守交替とし、ボールをける機会を確保する。

#### ②転がってくるボールを蹴る

実態から、動いているボールを蹴る方が遠くに飛ぶことがわかった。ピッチャーは味方が務め、バッターがどんなボールを転がしてほしいかを伝え、それに合わせて転がすことにする。攻撃側は蹴りやすいボールが転がってくれば思い切り蹴って、ボールを蹴る爽快感を味わうことができる。子どもたちがボールを蹴れるかどうか不安を抱えて打席に立つのではなく、安心してボールを蹴ることができるようにしたい。遠くに蹴る楽しさだけでなく、ねらって蹴る楽しさに気が付き、ボールを置いて蹴りたいという声や自分でバウンドさせて蹴りたいという声があがったら、クラスで話し合って決めていく。

#### ③集まりアウト制

ボールがあるところへ全員が集まってかけ声をかけたらアウトとする。みんなで守っているという意識をもたせ、全員が打球に反応できるようにするとともに、守備の際の運動量を確保できると考えた。

#### ④判定の仕方

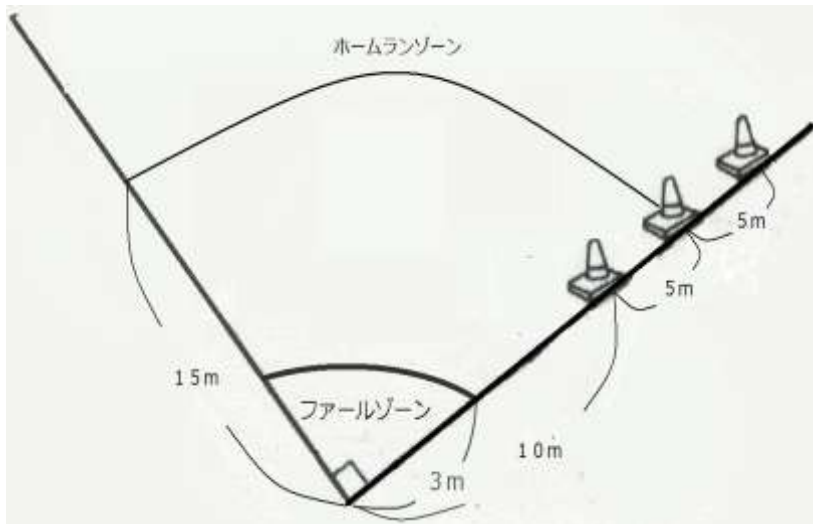
各チームから1名ずつ審判を出し、アウト・セーフのジャッジをする。実態から、自分たちでアウト・セーフを判定することが難しく、判断に自信がない子もいる。審判が2名いれば相談して判断することもできる。全員が審判を経験していくことにより、ルールをよく理解し、ゲームを楽しむことができる考えた。また、守備から1名出すことで守備の人数が4人になり、得点が入りやすくなる。ゲームが進む中で公平に判断することに慣れ、1人でも判定できるようになれば、守備を5人で行い、攻撃側が公平にセルフジャッジできるようにしていく。

### ○コートの工夫

多くの子が、遠くへ蹴ったり強く蹴ったりできるようになりたいと願っているが、うまく蹴れない子も多い。そこで、ファールゾーン（ホームベースから3m）を作り、勢いよくボールが蹴れなかった場合はもう一度行ってよいことにする。また、単元の後半ではバントをしてもらうことも考えられる。ファールゾーンを設けることでバントを防止し、思い切りボールを蹴ったり狙って蹴ったりする楽しさを味わわせていきたい。

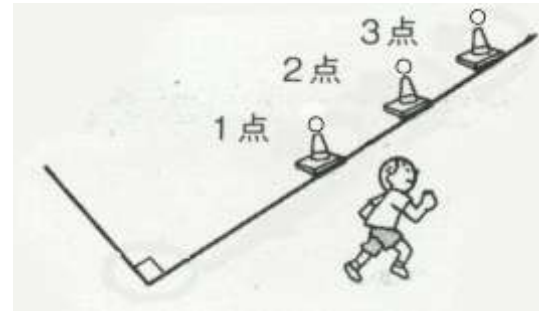
子どもたちと話し合いながらホームランゾーン（15m）や守備のスタートラインの有無等を決定していきたい。

<コート>



<得点のとり方>

守備側がかけ声をかける前に、コーンの上にあるすずを落とす。



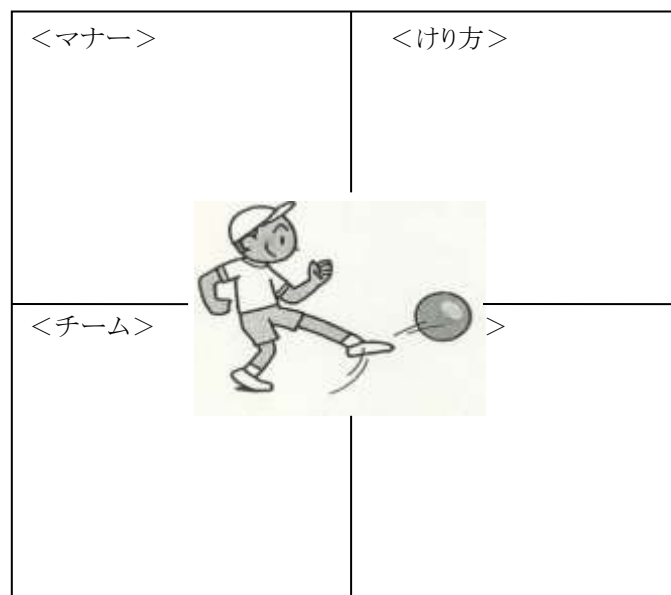
<アウトのとり方>

ボールを捕った人のところへ集まり、チーム全員が集まり、「アウト！」とかけ声をかける。

○めあてを立てるための支援

めあてを立てることに不安をもっている子が数名いる。めあての例を掲示し、参考にできるようにしていく。めあての例については、自分で考えられる子どもの意見をポスターにまとめていき、全体に広め、一人一人に合っためあてを学級で共有できるようにする。ルールやマナーについて、蹴り方について、守り方やチームのプレーについて区別してまとめることで、より自分に合っためあての参考にできるだろう。

実態から、具体的にめあてを立てることができていない。子どもたちは「勝ちたい」「頑張る」といっためあてを考えがちである。ゲームで勝つためには何をどんなふうに頑張ればよいのかを、掘り下げて聞いていくことが必要だと考える。振り返りカードを使って言葉として書かせることで、「蹴ったらすぐに走って点をたくさんとる」「守備の間を狙って蹴って点をたくさんとる」「ボールに素早く集まって早くアウトにする」などの具体的なめあてを一人一人がもてるようになるだろう。



#### 4 学習のねらいと道すじ

##### (1) 学習のねらい

- 友達と協力して楽しく学習を進めることができる。
- どんな攻め方や守り方をしたらよいか考えることができる。
- ボールを狙って蹴って思い切り走って得点をあげたり、ボールの正面に入って捕って相手の得点を防いだりすることを楽しむことができる。


##### (2) 学習の道すじ

	1	2	3	4	5	6 (本時)	7
0 ↓ 4 5	オリエンテーション	<p>ねらい やさしいルールでけりっこベースボールを楽しむ。</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ルールに慣れる</div> <div style="font-size: 2em;">⇒</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>楽しめるルールを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーンを増やす</li> <li>・アウトサークル</li> <li>・ダイヤモンドベース</li> </ul> <p>攻め方、守り方を考える</p> </div> <div style="font-size: 2em;">⇔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ルールを考えたり、攻め方や守り方を工夫して楽しむ。</p> </div> </div>					
関・意・態	○	○					○
思・判			○		○	○	
技能		○		○			○

#### 5 評価規準 (おおむね満足できる状況)

関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能
①友達と協力して楽しく学習に取り組もうとする。 ②約束を守り、安全に気を付けて活動している。	①自分に合っためあてを立てている。 ②ルールを知り、攻め方や守り方を工夫している。	①ボールを狙ったところへ蹴ることができる。 ②ボールが飛んだり転がったりするコースに入り、止めることができる。 ③点を取るために、思い切り走ることができる。

6 学習活動と支援

はじめ	<p>【オリエンテーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習のねらいや道すじ、学習の進め方を理解する。</li> <li>○学習カードの使い方について理解する。</li> <li>○ルールやマナーについて話し合う。</li> <li>○安全な場の準備・後片付けの仕方を確認する。</li> <li>○はじめのルールでゲームをして、役割等を確認する。</li> </ul> <p>◇約束を守り、安全に気をつけて活動する。 【関心・意欲・態度】</p>	
	学習活動と内容	教師の支援 ◇評価
なか	<p>1 学習の場作りをして、準備運動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレッチ</li> <li>・ボールを使った運動</li> </ul>  <p>・拍手キャッチをしてボールに慣れる</p> <p>2 ねらいを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>ねらい やさしいルールでけりっこベースボールを楽しむ。</p> </div> <p>3 ゲームのルール、めあて、活動計画について確認する。</p> <p>【予想されるめあて】</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なかよくゲームをしよう。</li> <li>・元気なかけ声を出そう。</li> <li>・ボールをよく見てけろう。</li> <li>・ボールを蹴ったらはやく走ろう。</li> <li>・ボールの正面に入るとめよう。</li> <li>・ボールのところへはやく集まろう。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○用具の分担をし、協力して準備できるようにしておく。 【関心・意欲・態度①】</li> <li>○子どもたちの様子を見ながら、足りない部分やゲームで使う部分を重点的にストレッチするように声をかける。</li> <li>○練習については子どもたちの要望に合わせて取り入れ、願いに合わせて練習の場を設定する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○漠然としためあてを立てる児童のために、具体的なめあてをポスターに書いておき、参考にできるように掲示しておく。</li> <li>○全体で何人かにめあてを聞き、困っている子は参考にするように助言する。</li> </ul> <p>◇自分に合っためあてを立てている。</p> <p>【思考・判断①】</p>

<p>【基本のルール】</p>	
<p>・ 1 チームの人数は 5 人          ・ ゲームは 2 回          ・ セルフジャッジ (審判 2 人)</p> <p>&lt; 攻撃 &gt;</p> <p>・ 全員が攻撃したら攻守交替          ・ 守備側がアウトをとる前にコーンの上の鈴を落としたり 1 点          ・ 3 m 以上転がさない と フェール</p> <p>&lt; 守備 &gt;</p> <p>・ 全員がボールに触ってかけ声をかける。「アウト！」</p>	
<p>3 やさしいルール (工夫されたルール) でゲームを楽しむ。</p> <p>【工夫されるルールの例】</p> <p>&lt; 攻撃 &gt;</p> <p>・ コーンを増やす          ・ ダイヤモンドベース          ・ ホームランゾーン</p> <p>&lt; 守備 &gt;</p> <p>・ アウトサークル</p> <p>4 2 回目のゲームを楽しむ。</p> <p>5 チームごとに振り返りをし、全体で学習のまとめをする。</p>	<p>○ゲームの始めと終わりのあいさつはしっかりとるように指導する。</p> <p>○チームでかけ声をかけ合ったり、声を出したりして楽しい雰囲気でゲームができるようにする。</p> <p>○いろいろな方向にボールをけてしまう子に対してはどこに蹴ればよいか考えさせるようにする。</p> <p>○守備側にポジション表をもとにどう守ればよいかを考えさせるようにする。</p> <p>○よい動きがあった時には称賛し、学級全体に広める。</p> <p>◇友達と協力して楽しく学習に取り組もうとする。【関心・意欲・態度①】</p> <p>◇ルールを知り、攻め方や守り方を工夫している。【思考・判断②】</p> <p>◇ボールを狙ったところへ蹴ることができる。【技能①】</p> <p>◇ボールが飛んだり転がったりするコースに入り、止めることができる。【技能②】</p> <p>◇点を取るために、思い切り走ることができる。【技能③】</p> <p>○楽しくゲームができたか、どうして楽しかったのかを振り返り、次の時間にどうしたいかを話し合うようにする。</p> <p>○自分のめあてを意識してできたかどうか確認する。</p>



